

3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-1 : 気象記録

3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-1 : 気象記録

令和 5 年 1 月 現在

年次	気温(°C)			平均湿度 (%)	総降水量 (mm)	最深積雪 (cm)	日照時間 (時間)	平均風速 (m/s)	
	平均	最高	最低						
昭和46年	1971	5.8	34.8	-25.9	75	1041.0	88	2259.1	2.1
昭和47年	1972	6.9	34.5	-23.1	76	1270.5	132	2195.9	2.1
昭和48年	1973	6.6	34.2	-21.6	75	956.5	76	2224.5	2.0
昭和49年	1974	6.5	32.6	-20.5	73	869.0	11	1990.4	2.3
昭和50年	1975	6.0	34.3	-24.5	76	1489.0	80	1976.8	1.3
昭和51年	1976	6.2	37.4	-23.1	72	799.5	27	2228.3	1.7
昭和52年	1977	5.7	34.6	-27.7	71	806.5	63	2160.5	1.5
昭和53年	1978	6.3	34.5	-27.0	70	884.5	99	2353.1	1.8
昭和54年	1979	6.5	32.0	-22.5	72	877.5	90	2257.8	1.9
昭和55年	1980	5.9	34.8	-22.6	73	812.5	49	2146.5	1.7
昭和56年	1981	5.7	34.5	-21.9	72	1033.5	51	2201.6	1.8
昭和57年	1982	6.4	33.9	-26.9	72	779.5	55	2349.1	1.7
昭和58年	1983	5.8	35.8	-22.4	75	849.0	35	2269.0	1.8
昭和59年	1984	5.9	34.4	-26.0	72	542.0	41	2449.7	1.9
昭和60年	1985	6.2	34.9	-26.3	72	731.5	64	2324.2	1.9
昭和61年	1986	5.5	35.1	-23.2	72	810.0	35	2163.2	1.9
昭和62年	1987	6.3	33.4	-25.2	70	749.0	61	2089.2	2.2
昭和63年	1988	6.5	35.4	-20.1	72	990.5	33	1979.1	2.0
平成元年	1989	7.6	33.4	-21.8	74	998.0	22	1961.4	2.0
平成 2 年	1990	7.8	32.8	-24.9	75	1091.0	60	2041.4	1.8
平成 3 年	1991	7.3	33.2	-22.9	72	810.0	96	1997.8	1.9
平成 4 年	1992	6.4	32.2	-21.8	75	755.0	39	1839.2	1.9
平成 5 年	1993	6.3	29.8	-20.8	75	1022.0	55	1821.3	1.9
平成 6 年	1994	7.6	37.0	-22.3	72	938.0	49	2151.4	2.0
平成 7 年	1995	7.1	34.5	-23.4	75	1044.5	91	1861.8	1.8
平成 8 年	1996	6.2	32.7	-21.1	72	791.5	58	1893.5	1.9
平成 9 年	1997	6.8	32.3	-19.2	73	881.5	70	1962.3	1.8
平成10年	1998	6.6	32.2	-25.0	75	1116.5	76	1909.7	2.4
平成11年	1999	7.3	36.3	-22.0	72	793.0	57	2153.8	2.3
平成12年	2000	6.7	34.6	-26.7	73	1114.5	92	2011.9	2.3
平成13年	2001	6.0	32.7	-24.3	70	885.0	94	2083.7	2.4
平成14年	2002	7.0	32.8	-20.0	71	948.0	75	2101.5	2.3
平成15年	2003	6.4	30.8	-22.5	73	830.5	87	2009.0	2.2
平成16年	2004	7.5	35.2	-20.8	71	827.0	111	2142.5	2.3
平成17年	2005	6.9	35.4	-21.5	71	734.0	82	2114.0	2.3
平成18年	2006	7.3	34.3	-20.9	71	963.5	51	1950.3	2.3
平成19年	2007	7.4	35.5	-16.5	71	893.5	41	2116.0	2.1
平成20年	2008	7.3	33.2	-22.7	73	476.5	51	2025.8	2.1
平成21年	2009	7.2	32.8	-20.3	74	1076.5	79	2002.6	2.1
平成22年	2010	8.0	36.0	-22.4	73	1159.0	72	1919.0	2.1
平成23年	2011	7.5	34.0	-19.4	71	876.0	52	2054.4	2.1
平成24年	2012	7.2	33.9	-22.5	75	1177.0	76	1883.8	2.0
平成25年	2013	7.3	33.6	-22.7	74	933.5	72	1944.6	2.2
平成26年	2014	7.6	34.8	-20.1	70	885.0	53	2162.4	2.3
平成27年	2015	8.1	36.5	-20.2	71	890.5	80	2094.2	2.2
平成28年	2016	7.2	32.3	-19.6	71	1275.0	97	2063.9	2.2
平成29年	2017	7.2	37.1	-22.1	69	892.5	63	2181.9	2.1
平成30年	2018	7.5	34.5	-21.3	73	1107.0	106	1986.9	1.9
令和元年	2019	7.9	38.8	-24.5	72	778.0	33	2152.6	2.2
令和 2 年	2020	8.1	35.8	-22.4	74	716.0	78	2011.7	1.9
令和 3 年	2021	8.2	37.1	-21.5	74	1002.5	67	2085.0	2.0
令和 4 年	2022	8.3	33.7	-19.7	74	1011.5	62	2088.7	1.9
令和 5 年	2023	9.1	35.6	-22.3	73	808.0	66	2165.3	1.9

※上表は気象庁アメダスの帯広観測所の値である。

※「」：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている（資料不足値）。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いないが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合がある。

資料編3-2：音更町の人口推移

■音更町の人口推移（年度末）

年度	世帯数	男	女	人口
昭和30	3,985	11,799	11,645	23,444
昭和31	4,076	11,871	11,755	23,626
昭和32	4,136	11,919	11,813	23,732
昭和33	4,132	12,037	12,033	24,070
昭和34	4,139	12,033	11,863	23,896
昭和35	4,609	12,242	12,063	24,305
昭和36	4,705	12,067	12,058	24,125
昭和37	4,897	12,268	12,222	24,490
昭和38	5,077	12,425	12,425	24,850
昭和39	5,271	12,350	12,440	24,790
昭和40	5,416	12,365	12,528	24,893
昭和41	5,507	12,267	12,463	24,730
昭和42	5,660	12,257	12,434	24,691
昭和43	5,876	12,401	12,623	25,024
昭和44	6,013	12,242	12,512	24,754
昭和45	6,243	11,999	12,496	24,495
昭和46	6,378	12,078	12,647	24,725
昭和47	6,686	12,484	13,007	25,491
昭和48	7,120	12,895	13,412	26,307
昭和49	7,475	13,272	13,813	27,085
昭和50	7,822	13,600	14,237	27,837
昭和51	8,028	13,939	14,493	28,432
昭和52	8,340	14,320	14,906	29,226
昭和53	8,651	14,697	15,373	30,070
昭和54	9,050	15,230	15,928	31,158
昭和55	9,450	15,732	16,381	32,113
昭和56	9,615	15,893	16,553	32,446
昭和57	10,005	16,115	16,759	32,874
昭和58	10,329	16,363	17,001	33,364
昭和59	10,573	16,566	17,320	33,886
昭和60	10,728	16,679	17,490	34,169
昭和61	10,836	16,599	17,523	34,122
昭和62	10,851	16,516	17,437	33,953
昭和63	10,998	16,519	17,475	33,994

年度	世帯数	男	女	人口
平成元	11,181	16,506	17,619	34,125
平成2	11,403	16,524	17,706	34,230
平成3	11,761	16,786	18,006	34,792
平成4	12,234	17,193	18,467	35,660
平成5	12,661	17,594	18,954	36,548
平成6	13,151	17,975	19,490	37,465
平成7	13,536	18,232	19,798	38,030
平成8	13,970	18,540	20,108	38,648
平成9	14,204	18,629	20,233	38,862
平成10	14,560	18,842	20,499	39,341
平成11	14,874	18,912	20,695	39,607
平成12	15,258	19,103	20,927	40,030
平成13	15,665	19,430	21,297	40,727
平成14	16,089	19,724	21,556	41,280
平成15	16,530	20,088	21,944	42,032
平成16	16,891	20,393	22,269	42,662
平成17	17,243	20,659	22,470	43,129
平成18	17,620	20,948	22,839	43,787
平成19	18,092	21,151	23,251	44,402
平成20	18,517	21,420	23,585	45,005
平成21	18,876	21,606	23,789	45,395
平成22	19,169	21,741	23,859	45,600
平成23	19,293	21,671	23,893	45,564
平成24	19,461	21,586	23,880	45,466
平成25	19,639	21,552	23,856	45,408
平成26	19,792	21,518	23,860	45,378
平成27	19,932	21,441	23,770	45,211
平成28	20,150	21,435	23,701	45,136
平成29	20,234	21,268	23,587	44,855
平成30	20,256	21,050	23,329	44,379
令和元	20,418	20,935	23,201	44,136
令和2	20,555	20,803	23,028	43,831
令和3	20,500	20,471	22,741	43,212
令和4	20,760	20,413	22,692	43,105

資料編 3-3 : 気象等に関する特別警報・警報・注意報の種類、発表基準

1 気象等に関する特別警報

予想される現象が特に異常であるため重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合、その旨を警告して行う予報。発表は市町村単位で発表される。

なお、北海道内では、平成26年9月11日に石狩・空知・胆振地方で大雨特別警報（土砂災害・浸水害）が発表されている。

現象の種類	基準
大雨特別警報	大雨が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。災害が発生又は切迫している状況であり、命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する必要があることを示す警戒レベル5に相当。
暴風特別警報	暴風が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。
大雪特別警報	大雪が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。
暴風雪特別警報	雪を伴う暴風が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表される。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害等による重大な災害」のおそれについても警戒が呼びかけられる。

2 気象等に関する警報・注意報

(1) 気象警報

大雨警報	大雨により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には、大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。大雨警報（土砂災害）は、高齢者等が危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル3に相当。
大雪警報	大雪により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
暴風警報	暴風により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
暴風雪警報	雪を伴う暴風により、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかける。

(2) 気象注意報

大雨注意報	大雨により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2である。
大雪注意報	大雪により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
強風注意報	強風により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
風雪注意報	雪を伴う強風により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。 「強風による災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害等による災害」のおそれについても注意を呼びかける。
濃霧注意報	濃い霧により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
雷注意報	落雷により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。また、発達した雷雲の下で発生することの多い竜巻等の突風や「ひょう」による災害についての注意喚起が付加されることもある。急な強い雨への注意についても雷注意報で呼びかけられる。
乾燥注意報	空気の乾燥により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、火災の危険が大きい気象条件を予想した場合に発表される。
なだれ注意報	「なだれ」により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。
着氷注意報	著しい着氷により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、通信線や送電線、船体等への被害が起こるおそれのあるときに発表される。
着雪注意報	著しい着雪により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、通信線や送電線、船体等への被害が起こるおそれのあるときに発表される。
融雪注意報	融雪により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、浸水害、土砂災害等の災害が発生するおそれがあると発表される。
霜注意報	霜により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、早霜や晩霜により農作物への被害が起こるおそれのあるときに発表される。
低温注意報	低温により、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、低温による農作物等への著しい被害や、低温のために農作物などに著しい被害が発生したり、冬季の水道管凍結や破裂による著しい被害が発生するおそれがあると発表される。

(3) 洪水警報及び注意報

洪水警報	河川の上流域での降雨や融雪等により河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。河川が増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が対象としてあげられる。高齢者等が危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル3に相当。
洪水注意報	河川の上流域での降雨や融雪等により河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想された時に発表される。避難に備えハザードマップ等により災害リスク等を再確認するなど、自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2である。

※ 土砂崩れ及び浸水警報・注意報は、その警報及び注意報事項を気象警報及び気象注意報に含めて行われる。

(4) 気象等に関する特別警報の発表基準

特別警報名	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

※1 気象庁では、降水量、台風の中心気圧、最大風速等について過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標を設け、これらの実況及び予想に基づいて判断し発表する。

※2 音更町における雨に関する50年に一度の値の指標は、以下のとおりである。

48時間降水量：192mm、3時間降水量：70mm、土壌雨量指数：148(R4. 3. 24現在)

※3 音更町近傍（地点名：帯広）における50年に一度の積雪深と既往最深積雪深は、以下のとおりである。

50年に一度の積雪深：142cm、既往最深積雪深：177mm (R4. 11. 21現在)

※4 地面現象の特別警報は、大雨特別警報に含めて「大雨特別警報（土砂災害）」として発表される

注) 特別警報は、府県程度の広がりや50年に一度の値となる現象を対象。個々の市町村で50年に一度の値となることのみで特別警報となるわけではないことに留意。

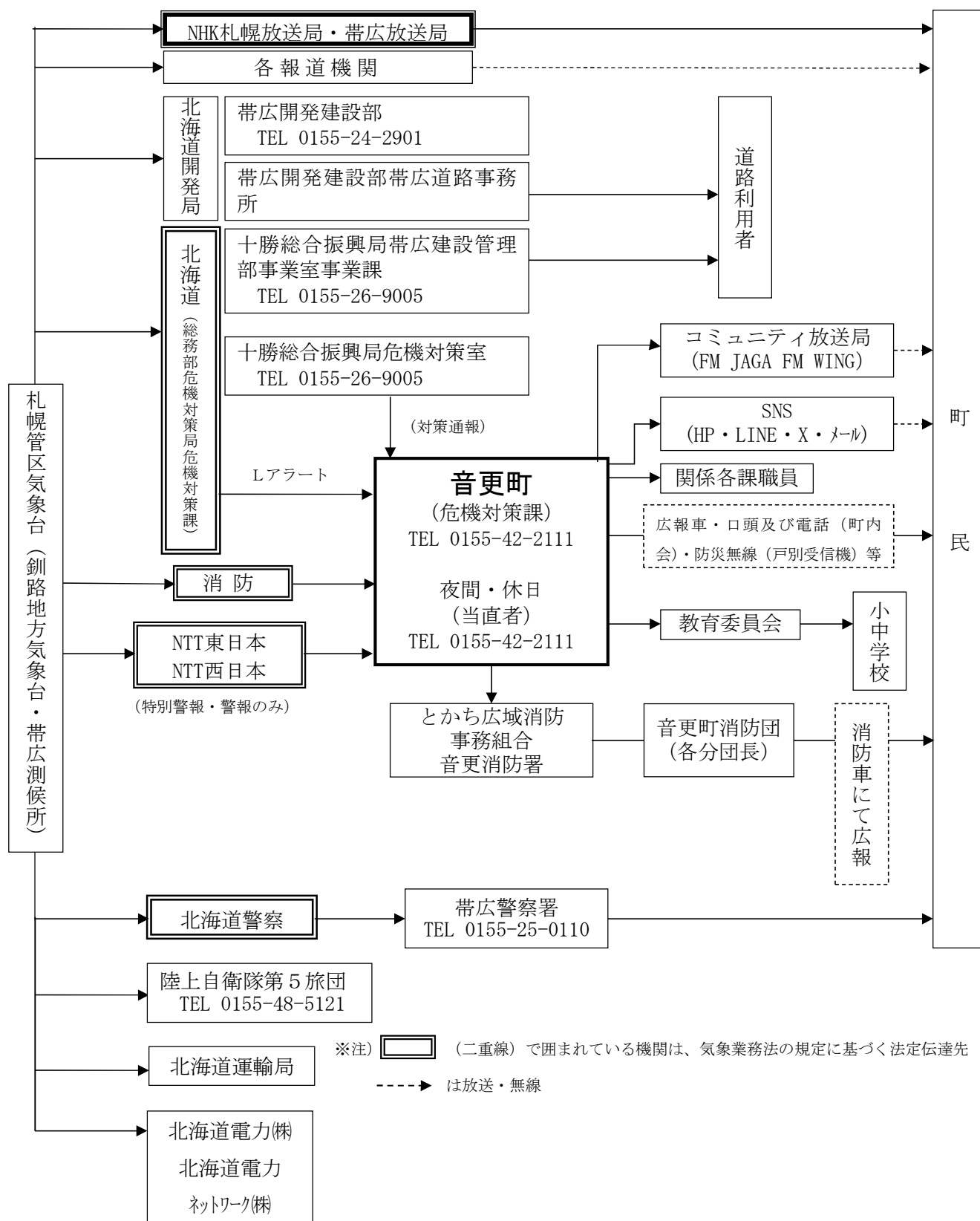
3 警報・注意報等発表基準

令和5年6月8日現在  
発表官署 帯広測候所

音更町	府県予報区	釧路・根室・十勝地方		
	一次細分区域	十勝地方		
	市町村等をまとめた地域	十勝中部		
警報	大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準 11	
		(土砂災害)	土壌雨量指数基準 134	
	洪水	流域雨量指数基準	土幌川流域=23.6, 然別川流域=34.6, 鈴蘭川流域=5	
		複合基準*1	-	
		指定河川洪水予報による基準	十勝川 [帯広], 音更川 [土幌・音更]	
	暴風	平均風速	20m/s	
	暴風雪	平均風速	18m/s 雪による視程障害を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ40cm	
	波浪	有義波高		
	高潮	潮位		
注意報	大雨	表面雨量指数基準	6	
		土壌雨量指数基準	83	
	洪水	流域雨量指数基準	土幌川流域=18.8, 然別川流域=27.6, 鈴蘭川流域=4	
		複合基準*1	音更川流域=(5, 19.9)	
		指定河川洪水予報による基準	十勝川 [帯広], 音更川 [土幌・音更]	
	強風	平均風速	12m/s	
	風雪	平均風速	10m/s 雪による視程障害を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ25cm	
	波浪	有義波高		
	高潮	潮位		
	雷	落雷等により被害が予想される場合		
	融雪	60mm以上：24時間雨量と融雪量（相当水量）の合計		
	濃霧	視程	200m	
	乾燥	最小湿度30% 実効湿度60%		
	なだれ	①24時間降雪の深さ30cm以上 ②積雪の深さ50cm以上で、日平均気温5℃以上		
	低温	4月、5月、10月：（最低気温） 平年より5℃以上低い 11月～3月：（最低気温） 平年より8℃以上低い 6月～9月：（平均気温） 平年より4℃以上低い日が2日以上継続		
	霜	最低気温3℃以下		
着氷				
着雪	気温0℃くらいで、強度並以上の雪が数時間以上継続			
記録的短時間大雨情報		1時間雨量	90mm	

\*1 (表面雨量指数, 流域雨量指数) の組み合わせによる基準値を表しています。

資料編 3-4 : 気象等に関する特別警報・警報・注意報の伝達系統図

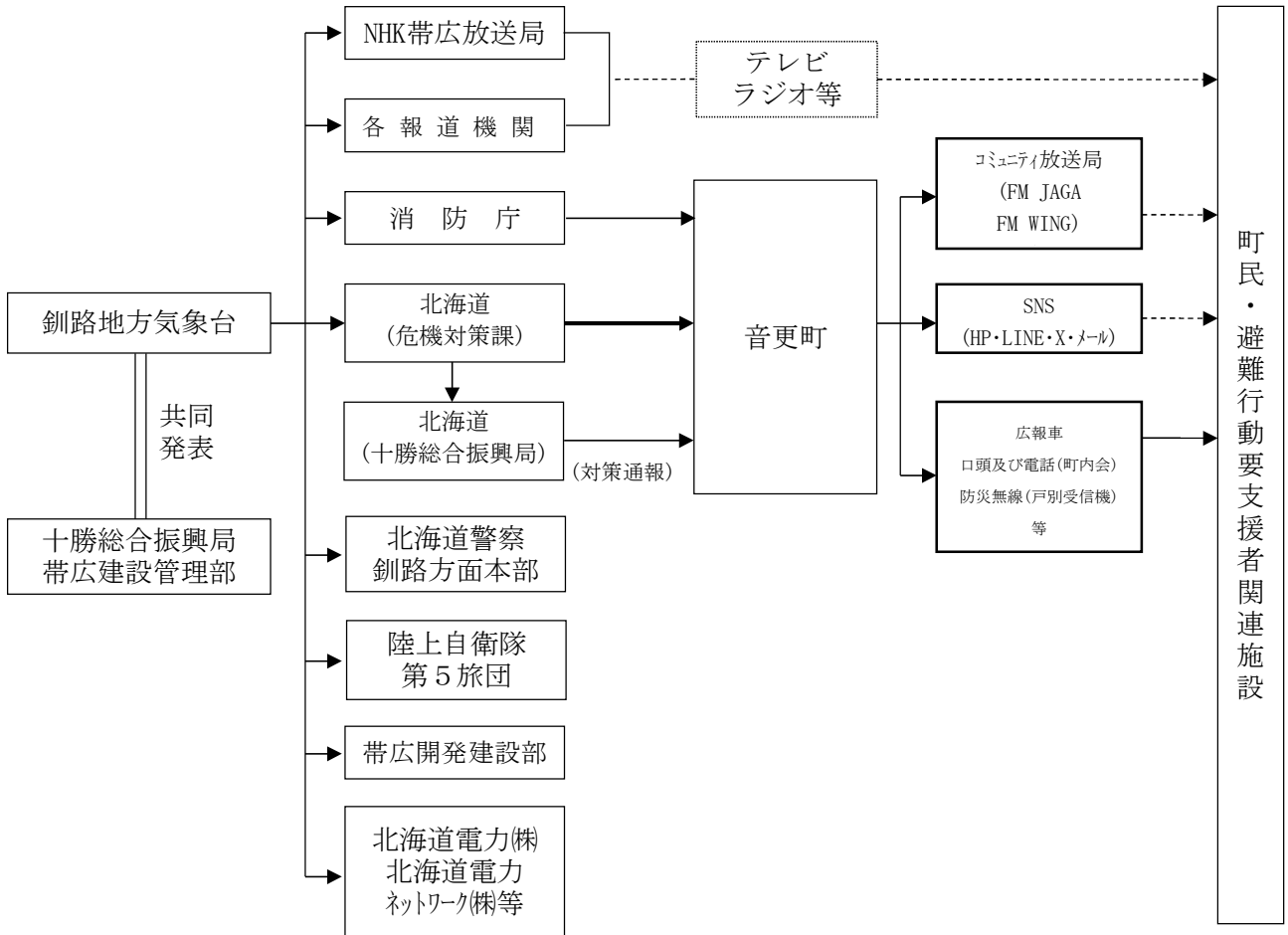


資料編 3-5 : キキクル等の種類と概要

種類	概要
土砂キキクル (大雨警報(土砂災害)の危険度分布) ※	<p>大雨による土砂災害発生の危険度の高まりの予測を、地図上で1km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報。2時間先までの雨量分布及び土壌雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害切迫」(黒) : 命の危険があり直ちに安全確保が必要とされる警戒レベル5に相当。</li> <li>・「危険」(紫) : 危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当。</li> <li>・「警戒」(赤) : 高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当。</li> <li>・「注意」(黄) : ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。</li> </ul>
浸水キキクル (大雨警報(浸水害)の危険度分布)	<p>短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を、地図上で1km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報。1時間先までの表面雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害切迫」(黒) : 命の危険があり直ちに安全確保が必要とされる警戒レベル5に相当。</li> </ul>
洪水キキクル (洪水警報の危険度分布)	<p>指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川(水位周知河川及びその他河川)の洪水発生危険度の高まりの予測を、地図上で河川流路を概ね1kmごとに5段階に色分けして示す情報。3時間先までの流域雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、洪水警報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害切迫」(黒) : 命の危険があり直ちに安全確保が必要とされる警戒レベル5に相当。</li> <li>・「危険」(紫) : 危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当。</li> <li>・「警戒」(赤) : 高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当。</li> <li>・「注意」(黄) : ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。</li> </ul>
流域雨量指数の予測値	<p>指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川(水位周知河川およびその他の河川)の、上流域での降雨による、下流の対象地点の洪水危険度の高まりの予測を、洪水警報等の基準への到達状況に応じて危険度を色分けした時系列で示す情報。6時間先までの雨量分布の予測(香水短時間予報等)を用いて常時10分ごとに更新している。</p>



資料編 3-6 : 土砂災害警戒情報の伝達系統図



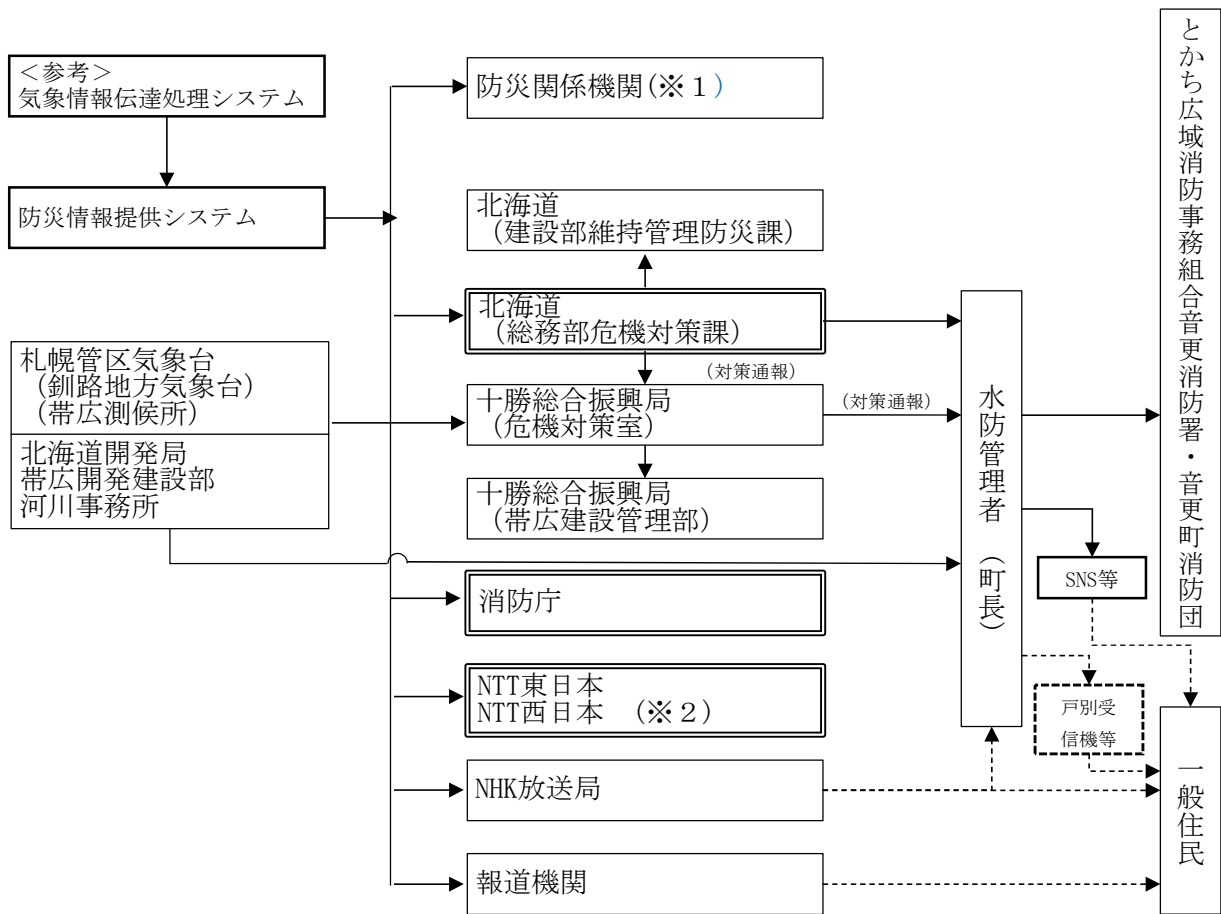
※注) 太線 (太線) は、土砂災害防止法第27条に基づき通知が義務付けられている伝達経路

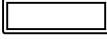
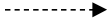
----- は放送・無線

資料編3-7：指定河川洪水予報の種類、発表基準

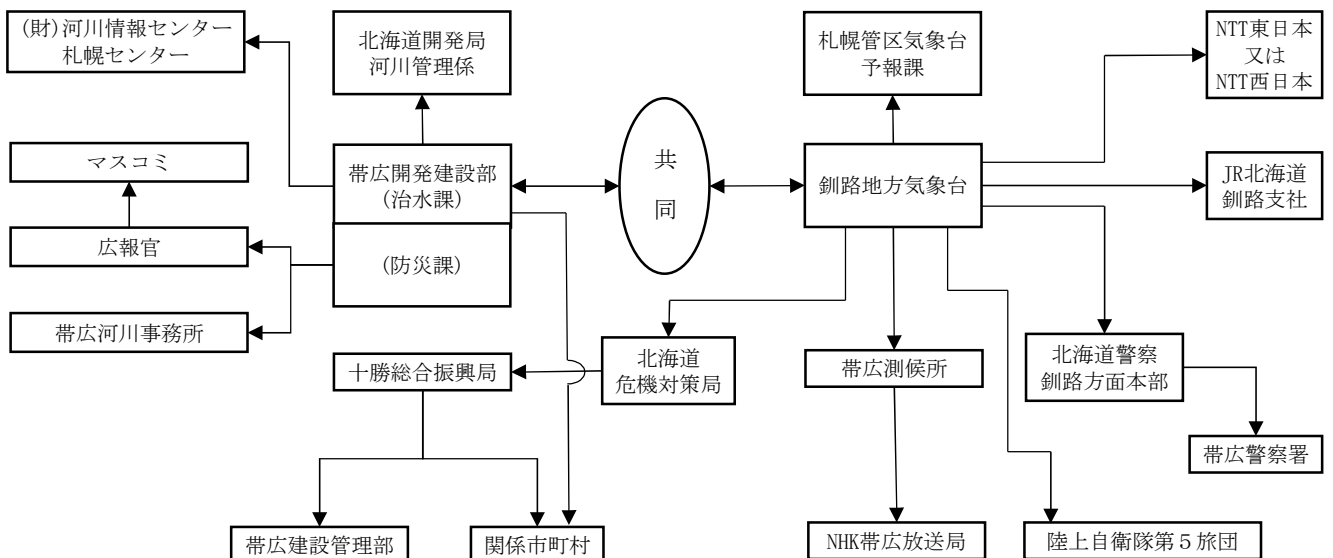
種類	標題	概要
「洪水警報 (発表)」 または 「洪水警報」	「氾濫発生情報」または 「氾濫発生情報（氾濫水の予報）」	氾濫が発生したとき、氾濫が継続しているときに発表される。 新たに氾濫が及ぶ区域の住民の避難誘導や救援活動等が必要となる。災害がすでに発生している状況であり、命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保する必要があることを示す警戒レベル5に相当。
	「氾濫危険情報」	基準地点の水位が氾濫危険水位に達したとき、氾濫危険水位以上の状態が継続しているとき、急激な水位上昇により間もなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれるときに発表される。 いつ氾濫が発生してもおかしくない状況、避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階であり、避難指示の発令の判断の参考とする。 危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当。
	「氾濫警戒情報」	基準地点の水位が氾濫危険水位に達すると見込まれるとき、避難判断水位に達し更に水位の上昇が見込まれるとき、氾濫危険情報を発表中に氾濫危険水位を下回ったとき（避難判断水位を下回った場合を除く。）、避難判断水位を超える状況が継続しているとき（水位の上昇の可能性がなくなった場合を除く。）に発表される。 高齢者等避難の発令の判断の参考とする。高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当。
「洪水注意報(発表)」 または 「洪水注意報」	「氾濫注意情報」	基準地点の水位が氾濫注意水位に達し、更に水位の上昇が見込まれるとき、氾濫注意水位以上で、かつ避難判断水位未満の状態が継続しているとき、避難判断水位に達したが水位の上昇が見込まれないときに発表される。 ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。
「洪水注意報（警報解除）」	「氾濫注意情報（警戒情報解除）」	・氾濫危険情報または氾濫警戒情報を発表中に避難氾濫水位を下回った場合（氾濫注意水位を下回った場合を除く） ・氾濫警戒情報発表中に水位の上昇が見込まれなくなったとき（氾濫危険水位に達した場合を除く）
「洪水注意報解除」	「氾濫注意情報解除」	・氾濫発生情報・氾濫危険情報・氾濫警戒情報、はん濫警戒情報または氾濫注意情報発表を発表中に、氾濫注意水位を下回り氾濫の恐れがなくなったとき

資料編 3-8：指定河川洪水予報の伝達系統

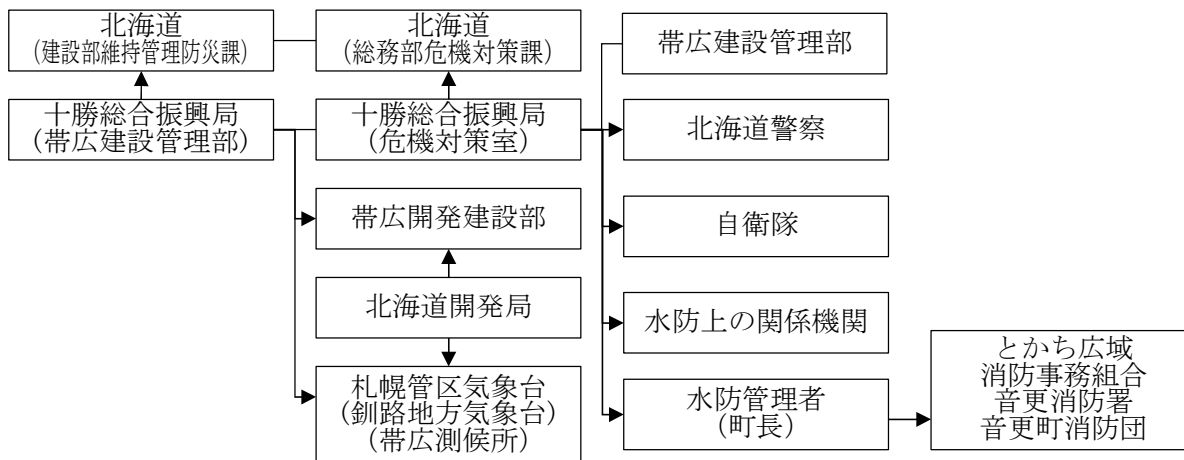


 (二重線) で囲まれている機関は、気象業務法の規定に基づく洪水予報の通知先は、放送・無線  
 (※1) 陸上自衛隊北部方面総監部(情報部資料課)、北海道警察等  
 (※2) NTT東日本及びNTT西日本への洪水予報の伝達は洪水警報のみとし、一般の利用に適合する洪水警報の通知をもって代える。

※ 札幌管区気象台及び北海道開発局で共同発表される洪水予報等発表系統図

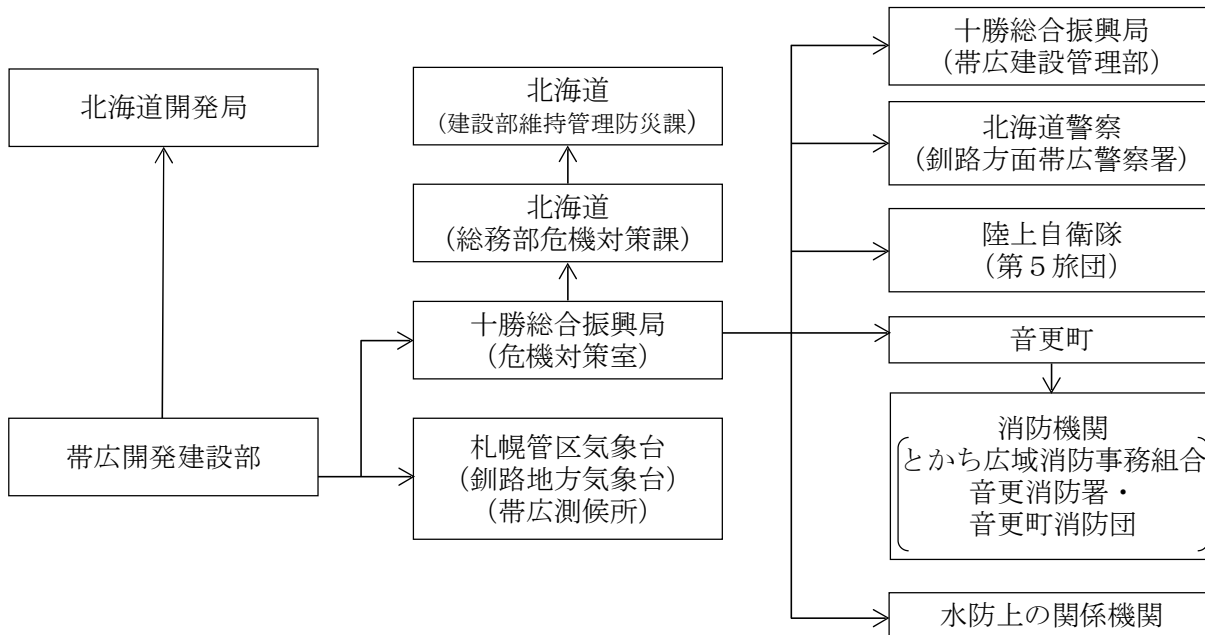


資料編3-9：水位到達情報の伝達系統図



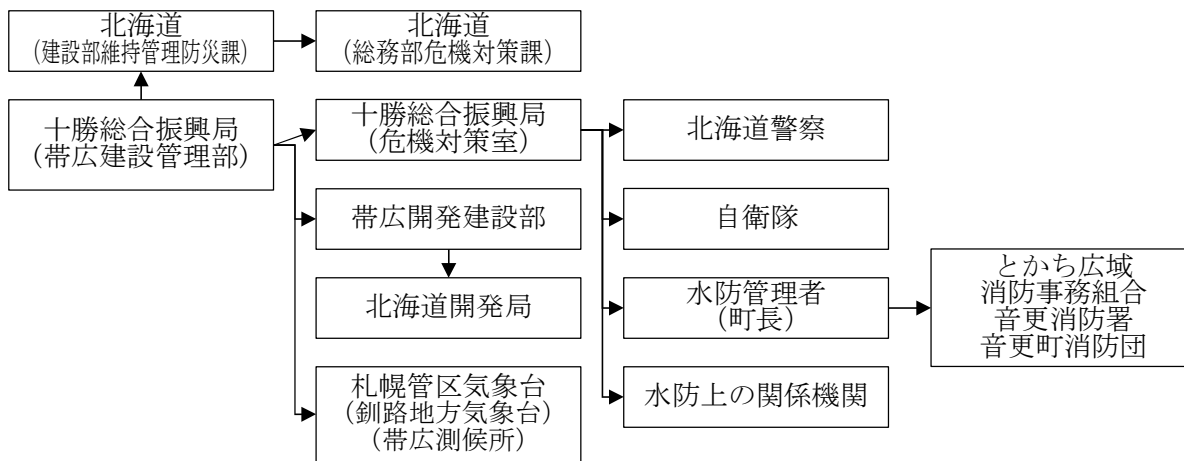
資料編 3-10：水防警報（水防法第 16 条）の伝達系統図

1 国土交通大臣が行う水防警報



2 知事が行う水防警報

水防管理団体の補助（3条の6、7条、11条、13条、14条、15条、16条、44条）



種類 1：待機 2：準備 3：出動 4：指示 5：解除 6：情報

資料編3-11：音更町周辺の主な地震災害発生記録

発生の年月日	震央	位置	規模	被害の状況
大正2年2月20日 (1913年)	青森県 東方沖	E142° 18' N 41° 48'	7.4	帯広で小さな地割れ、本別で棚の物落下
大正4年3月18日 (1915年)	三陸沖	E143° 36' N 42° 06'	8.0	帯広地方で小被害、死者2名
大正15年9月5日 (1926年)	十勝沖	E143° 59' N 41° 55'	6.8	樺太から北海道全域にかけて強い地震、帯広・広尾・士幌・清水で強震、帯広を中心に多少の被害
大正15年10月19日 (1926年)	エリモ岬 南西沖100km	E143° 04' N 41° 40'	6.2	9時29分発震、北海道南半分及び東北地方の太平洋岸に地震、苫小牧・広尾・清水で強震、帯広震度3
昭和7年11月26日 (1932年)	新冠川河口	E142° 28' N 42° 25'	6.8	13時23分発震、各地に大きな被害、帯広震度4で陶器店、雑貨店などに被害
昭和13年5月29日 (1938年)	屈斜路湖	E144° 27' N 43° 33'	6.0	「屈斜路湖地震」、有感地区は十勝・釧路・根室、被害は局部的
昭和27年3月4日 (1952年)	十勝沖	E143° 08' N 42° 48'	8.1	「十勝沖地震」、震源地襟裳岬沖70km、帯広・広尾・本別・川西など震度5の強震、十勝管内罹災戸数950戸、罹災者数53,911名、死者5名、重軽傷者363名、全壊戸数1,684戸、半壊戸数3,141戸、小破戸数6,088戸、浸水戸数13戸、焼失戸数4戸、道路決壊54カ所、橋梁流失10カ所、堤防決壊86カ所、鉄道不通2カ所
昭和33年11月7日 (1958年)	択捉島	E148° 30' N 44° 18'	7.8	7時58分発震、釧路強震、根室・帯広・浦河・札幌中震、道東を中心に鉄道及び通信に被害、津波にて港湾施設に若干被害あり
昭和43年5月16日 (1968年)	十勝沖	E143° 35' N 40° 44'	7.9	「1968年十勝沖地震」9時49分発震、北海道から東北にかけて地震、震源地襟裳岬南方150km、帯広震度4の中震、十勝管内での被害90,000千円
昭和44年8月12日 (1969年)	北海道 東方沖	E147° 37' N 42° 42'	7.8	「根室沖地震」、6時27分発震、釧路市内破損、国鉄関係で橋梁亀裂、前傾など18件の被害
昭和45年1月21日 (1970年)	北海道南部 (日高山脈南部)	E143° 08' N 42° 23'	6.7	北海道東北に地震、帯広・広尾・本別震度5の強震、震源地日高山脈楽古岳の北、広尾・大樹でかなりの被害

3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-11：音更町周辺の主な地震災害発生記録

発生の年月日	震央	位置	規模	被害の状況
昭和57年3月21日 (1982年)	浦河沖	E142° 36' N 42° 04'	7.1	11時32分発震、北海道全域に強い地震、浦河で震度6の烈震、せともの店で落下被害
昭和62年1月14日 (1987年)	日高山脈 北部	E142° 56' N 42° 32'	7.0	20時04分発震、北海道全域に強い地震、釧路震度5、帯広・根室・広尾震度4、ビルの窓ガラス、陶器店で被害大
平成5年1月15日 (1993年)	釧路沖	E144° 22' N 42° 53'	7.8	20時06分発震、「釧路沖地震」東日本のほぼ全域で有感、釧路震度6の烈震、帯広・浦河・八戸震度5の強震、苫小牧・青森震度4
平成5年7月12日 (1993年)	北海道 南西沖	E139° 11' N 42° 47'	7.8	22時17分発震、「北海道南西沖地震」、北海道から東北地方にかけて有感、江差震度5、室蘭・苫小牧・倶知安・青森震度4、帯広・札幌震度3 道南から東北・北陸・中国・山陰の日本海沿岸に津波観測 奥尻・瀬棚・大成で高さ30m近くに上る大津波来襲、奥尻町青苗地区全滅、死者201名、行方不明29名、重傷者81名、軽傷者240名、全壊545戸、半壊400戸、一部損壊4,854戸（被害総額124,309,894千円）
平成6年10月4日 (1994年)	北海道 東方沖	E147° 40' N 43° 22'	8.1	22時23分発震、「北海道東方沖地震」東日本のほぼ全域で有感、太平洋及びオホーツク海沿岸で津波を観測、釧路・厚岸震度6、広尾・浦河震度5、帯広・網走・苫小牧・音別震度4、重傷者12名、軽傷者331名、家屋被害2,099戸、道路被害1,318カ所
平成6年12月28日 (1994年)	三陸 はるか沖	E143° 45' N 40° 26'	7.5	21時19分発震「三陸はるか沖地震」東日本のほぼ全域で有感、北海道から東北地方の太平洋沿岸で津波を観測、（根室市花咲港173cm）八戸震度6、むつ・青森・盛岡震度5、帯広・浦河・函館・苫小牧震度4、死者3名、負傷者784名、家屋被害6,229戸、道路被害104カ所
平成15年9月26日 (2003年)	釧路沖	E144° 05' N 41° 47'	8.0	4時50分発震、「平成15(2003)年十勝沖地震」東日本のほぼ全域で有感、北海道沿岸で津波を観測、（釧路1.2m、根室市花咲港0.9m）鹿追町、幕別町、豊頃町震度6弱、帯広市震度5強、音更町震度5弱

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-11：音更町周辺の主な地震災害発生記録

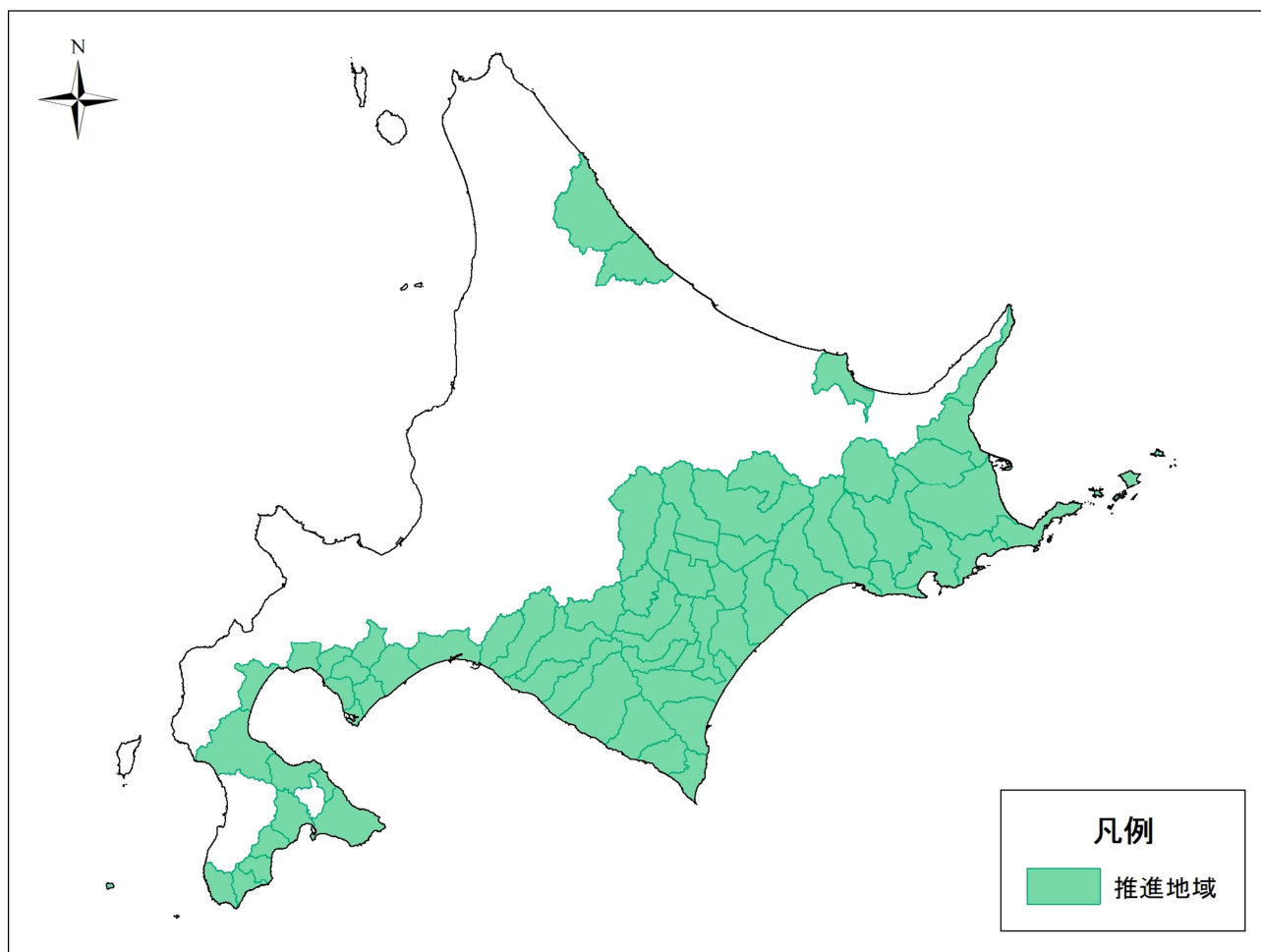
発生の年月日	震央	位置	規模	被害の状況
平成16年11月29日 (2004年)	釧路沖	E145° 17' N 42° 57'	7.1	3時22分発震、釧路村、弟子屈町、別海町震度5強、更別村、釧路市震度5弱、音更町、帯広市震度4、この地震により傷病者51名、住家一部損壊3棟等の被害があった。
平成16年12月6日 (2004年)	釧路沖	E145° 21' N 42° 51'	6.9	23時15分発震、厚岸町震度5強、更別村震度5弱、芽室町震度4、音更町、帯広市震度3 この地震により負傷者12名、建物の一部損壊等の被害があった。
平成16年12月14日 (2004年)	留萌支庁 南部	E141° 42' N 44° 04'	6.1	14時56分発震、苫前町震度5強、羽幌町震度5弱、この地震と余震により、負傷者8名、住宅損壊2棟等の被害があった。
平成17年1月18日 (2005年)	釧路沖	E145° 00' N 42° 53'	6.4	23時9分発震、厚岸町震度5強、別海町震度5弱、忠類村震度4、音更町、帯広市震度3 この地震により、負傷者1名、校舎等の一部破損3校、教育施設一部破損5施設等、建物の一部損壊被害があった。
平成20年9月11日 (2008年)	十勝沖	E144° 40' N 41° 50'	7.1	9時21分発震、新冠町・新ひだか町・浦幌町・大樹町震度5弱、音更町・帯広市震度4
平成23年3月11日 (2011年)	三陸沖	E142° 51' N 38° 61'	9.0	「東北地方太平洋沖地震」14時46分発震 最大震度7（宮城県栗原市）、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県37市町村で震度6強 音更町・帯広市震度4
平成25年2月2日 (2013年)	十勝沖	E143° 3' N 42° 7'	6.5	23時17分発震、最大震度5強 浦幌町、釧路市、根室市で震度5強 音更町、帯広市、新得町で震度5弱
平成28年1月14日 (2016年)	浦河沖	E142° 48' N 41° 58'	6.7	12時25分発震、最大震度5弱 函館市、新冠町、浦河町、様似町で震度5弱 音更町で震度4
平成30年9月6日 (2018年)	胆振地方中 東部	E142° 0' N 42° 41'	6.7	「北海道胆振東部地震」3時7分発震、最大震度7 厚真町鹿沼で震度7 音更町で震度4



### 資料編 3-12：日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域

日本海溝特措法第3条に基づき指定された本道の地震防災対策推進地域は、次表のとおりである。  
(令和4年10月3日 内閣府告示第99号)

函館市、室蘭市、釧路市、帯広市、網走市、苫小牧市、根室市、登別市、伊達市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、枝幸町、雄武町、豊浦町、壮瞥町、白老町、厚真町、洞爺湖町、むかわ町、日高町、平取町、新冠町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町、別海町、中標津町、標津町、羅臼町



## 資料編3-13：北海道における日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の特性

### 1 想定される日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の概要

日本海溝・千島海溝周辺で発生する大規模な地震のうち、過去の状況から、近い将来発生する可能性が高く、北海道に著しい被害を生ずるおそれのある地震として想定した、色丹島沖の地震、根室沖・釧路沖の地震、十勝沖・釧路沖の地震、500年間隔地震、三陸沖北部の地震の5つの地震は、いずれもM8クラスの大地震であり、津波被害が著しい。

このうち、根室沖・釧路沖の地震は切迫性が高いとされており、500年間隔地震はある程度の切迫性を有している可能性があると考えられている。

### 2 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による被害の特性

想定される日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震について道が実施した津波浸水予測・被害想定調査結果（H17・太平洋沿岸中部・東部地区）等に基づく被害の特性は、次のとおりである。

#### （1）津波による被害

ア 津波による被害が揺れによる被害よりも甚大であり、本道では、500年間隔地震による津波被害が最大で、建物被害は構造物の効果がない場合で最大全壊棟数約4,500棟、人的被害は冬期に避難意識の低い場合で、最大死者数約880人に及ぶ。

イ 想定される地震の震源は陸域から遠く、津波が到達するまで比較的猶予があるため、迅速かつ的確な避難行動の実現により、被害を大きく軽減させることができる。

津波第一波のピークとなる津波到達時間は、いずれの想定地震でも20分以上と予測され、早いところで30分前後の地域が多いと予想される。但し、20cmの水位変動時点である津波影響開始時間でみると、十勝沖・釧路沖の地震や500年間隔地震では、地域によって10分未満と予測され、留意を要する。

500年間隔地震における津波による人的被害では、避難意識が低い場合には死者約880人であるのに対して、いち早い避難行動が期待される避難意識が高い場合には死者約110人に減少する。

#### （2）揺れに伴う被害

揺れに伴う本道での被害は、十勝沖・釧路沖の地震が最大で、中央防災会議の被害想定では全壊棟数1,900棟、死者約10人が予測されているほか、液状化や急傾斜地崩壊による全壊棟数も1,300棟を越える。

#### （3）積雪・寒冷地による被害の拡大

地震の発生が冬期の場合には、避難路の凍結により避難が困難となり、被害が拡大するほか、積雪による屋根荷重による建物被害の拡大、冬期は火気使用量が増大することから、地震時の出火危険性が高く、火災被害の拡大が予想される。

中央防災会議の被害想定では、十勝沖・釧路沖の地震で、夏18時に発生した場合の焼失棟数は約1,300棟であるのに対し、冬18時に発生した場合の焼失棟数は約14,000棟となる。

#### (4) 孤立集落発生の可能性

津波等により、沿岸部を中心に孤立集落が発生する可能性がある。

内閣府の調査結果によると、本道の推進地域に存する漁業集落約200のうち、津波浸水等により孤立する可能性のある集落は約80に及んでいる。

#### (5) 長周期地震動による被害

2003年十勝沖地震の際、長周期地震動により、苫小牧でコンビナート火災が発生している。

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震は、十勝沖地震と同等あるいはそれ以上に震源域が大きく、その地震動は長周期の成分が卓越し、継続時間も長いものと考えられる。

苫小牧が位置する勇払平野から札幌が位置する石狩平野にかけての地域、十勝平野の中でも帯広や十勝川河口部周辺などでは、厚い堆積層で覆われており、地盤の固有周期に応じた周期の長周期地震動の振幅は大きく、継続時間は長くなる。

また、震源域との位置関係や地盤の不規則な構造によって、さらに長周期地震動が増幅されるおそれがある。

資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		1. 標津断層帯（モデル30_1）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満
	機能支障世帯数		1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
	※機能支障人口		2人	2人	2人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		2. 標津断層帯（モデル45_5）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	5.0	5.0	5.0	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	9箇所	9箇所	9箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	22箇所	22箇所	22箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.4km	1.4km
	機能支障世帯数		106世帯	106世帯	106世帯
	※機能支障人口		263人	263人	263人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	31箇所	31箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		3. 十勝平野断層帯主部（モデル30_3）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	6.4	6.4	6.4
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	23箇所	23箇所	23箇所
		崩壊危険度B(箇所)	8箇所	8箇所	8箇所
		崩壊危険度C(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	89棟	42棟	89棟
		揺れによる半壊棟数	648棟	266棟	648棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟	1棟	1棟
		液状化による半壊棟数	3棟	3棟	3棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	5棟	5棟	5棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	12棟	12棟	12棟
	計	全壊棟数	95棟	48棟	95棟
	半壊棟数	663棟	281棟	663棟	
(5) 火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	8件
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	4件
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	8棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	7人	2人	5人
		揺れによる軽傷者数	60人	16人	47人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	2人	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	6人	2人	3人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	2人	1人未満	2人
		重傷者数	9人	3人	6人
		軽傷者数	66人	19人	51人
	避難者数	避難所生活者数	4,576人	4,381人	4,584人
避難所外避難者数		2,464人	2,359人	2,468人	
避難者数計		7,040人	6,741人	7,052人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	262箇所	262箇所	262箇所
		断水世帯数(直後)	14,810世帯	14,810世帯	14,810世帯
		※断水人口(直後)	36,878人	36,878人	36,878人
		断水世帯数(1日後)	9,707世帯	9,707世帯	9,707世帯
		※断水人口(1日後)	24,171人	24,171人	24,171人
		断水世帯数(2日後)	9,504世帯	9,504世帯	9,504世帯
		※断水人口(2日後)	23,666人	23,666人	23,666人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	9.7km	9.7km	9.7km
		機能支障世帯数	768世帯	768世帯	768世帯
		※機能支障人口	1,913人	1,913人	1,913人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	14箇所	14箇所	14箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	109箇所	109箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		通行支障箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		4. 十勝平野断層帯主部（モデル45_2）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	6.4	6.4	6.4	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A (箇所)	23箇所	23箇所	23箇所	
	崩壊危険度B (箇所)	8箇所	8箇所	8箇所	
	崩壊危険度C (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	93棟	37棟	93棟
		揺れによる半壊棟数	619棟	235棟	619棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	2棟	2棟	2棟
		液状化による半壊棟数	3棟	3棟	3棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	5棟	5棟	5棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	12棟	12棟	12棟
	計	全壊棟数	99棟	43棟	99棟
	半壊棟数	634棟	250棟	634棟	
(5) 火災被害	全出火件数	1件未満	1件未満	7件	
	炎上出火件数	1件未満	1件未満	4件	
	焼失棟数	1棟未満	1棟未満	15棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	8人	2人	6人
		揺れによる軽傷者数	72人	19人	56人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	2人	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	6人	2人	3人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	2人	1人未満	2人
		重傷者数	10人	3人	8人
		軽傷者数	78人	21人	60人
	避難者数	避難所生活者数	3,859人	3,611人	3,873人
避難所外避難者数		2,078人	1,944人	2,086人	
避難者数計		5,937人	5,555人	5,959人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	186箇所	186箇所	186箇所
		断水世帯数(直後)	14,497世帯	14,497世帯	14,497世帯
		※断水人口(直後)	36,100人	36,100人	36,100人
		断水世帯数(1日後)	9,879世帯	9,879世帯	9,879世帯
		※断水人口(1日後)	24,601人	24,601人	24,601人
		断水世帯数(2日後)	9,694世帯	9,694世帯	9,694世帯
		※断水人口(2日後)	24,140人	24,140人	24,140人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	10.4km	10.4km	10.4km
		機能支障世帯数	839世帯	839世帯	839世帯
		※機能支障人口	2,090人	2,090人	2,090人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	13箇所	13箇所	13箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	96箇所	96箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		5. 十勝平野断層帯主部（モデル45_5）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	6.5	6.5	6.5	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	23箇所	23箇所	23箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	8箇所	8箇所	8箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	376棟	162棟	376棟
		揺れによる半壊棟数	1,451棟	668棟	1,451棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	3棟	3棟	3棟
		液状化による半壊棟数	5棟	5棟	5棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	6棟	6棟	6棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	14棟	14棟	14棟
	計	全壊棟数	384棟	170棟	384棟
半壊棟数	1,469棟	686棟	1,469棟		
(5) 火災被害	全出火件数	2件	1件未満	21件	
	炎上出火件数	1件	1件未満	10件	
	焼失棟数	2棟	1棟未満	24棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	3人	1人未満	3人
		揺れによる重傷者数	15人	4人	12人
		揺れによる軽傷者数	138人	40人	107人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	2人	1人未満	1人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	6人	2人	4人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	2人
	計	死者数	4人	1人	4人
		重傷者数	17人	5人	13人
		軽傷者数	145人	42人	112人
	避難者数	避難所生活者数	6,328人	5,906人	6,348人
避難所外避難者数		3,407人	3,180人	3,418人	
避難者数計		9,736人	9,086人	9,766人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	504箇所	504箇所	504箇所
		断水世帯数(直後)	16,278世帯	16,278世帯	16,278世帯
		※断水人口(直後)	40,535人	40,535人	40,535人
		断水世帯数(1日後)	11,910世帯	11,910世帯	11,910世帯
		※断水人口(1日後)	29,657人	29,657人	29,657人
		断水世帯数(2日後)	11,742世帯	11,742世帯	11,742世帯
		※断水人口(2日後)	29,239人	29,239人	29,239人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	14.8km	14.8km	14.8km
		機能支障世帯数	1,143世帯	1,143世帯	1,143世帯
		※機能支障人口	2,845人	2,845人	2,845人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	16箇所	16箇所	16箇所
		その他の道路の被害	125箇所	125箇所	125箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		通行支障箇所数	6箇所	6箇所	6箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					



3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		6. 富良野断層帯西部（モデル30_2）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	5箇所	5箇所	5箇所
		崩壊危険度C(箇所)	26箇所	26箇所	26箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満	
	避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満	
	避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
	下水道の被害	被害延長(km)	0.9km	0.9km	0.9km
		機能支障世帯数	66世帯	66世帯	66世帯
		※機能支障人口	165人	165人	165人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	25箇所	25箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		7. 富良野断層帯西部（モデル30_5）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	4箇所	4箇所	4箇所
		崩壊危険度C(箇所)	27箇所	27箇所	27箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	0.7km	0.7km
	機能支障世帯数		56世帯	56世帯	56世帯
	※機能支障人口		139人	139人	139人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	19箇所	19箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		8. 富良野断層帯西部（モデル45_3）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	5箇所	5箇所	5箇所
		崩壊危険度C(箇所)	26箇所	26箇所	26箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満	
	避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満	
	避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	0.9km	0.9km
	機能支障世帯数		65世帯	65世帯	65世帯
	※機能支障人口		163人	163人	163人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	25箇所	25箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		9. 増毛山地東縁断層帯（モデル30_2）の地震			
被害想定項目	小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.5	4.5	4.5	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A（箇所）	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B（箇所）	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C（箇所）	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0km	0km	0km
		機能支障世帯数	0世帯	0世帯	0世帯
		※機能支障人口	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		その他の道路の被害	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		10. 増毛山地東縁断層帯（モデル45_1）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	5	5	5	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	11箇所	11箇所	11箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	20箇所	20箇所	20箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満	
	避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満	
	避難者数計	1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
	下水道の被害	被害延長(km)	1.8km	1.8km	1.8km
		機能支障世帯数	144世帯	144世帯	144世帯
		※機能支障人口	358人	358人	358人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
—		—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	37箇所	37箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		11. 増毛山地東縁断層帯（モデル45_2）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.5	4.5	4.5
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
		下水道の被害	被害延長(km)	0km	0km
	機能支障世帯数		0世帯	0世帯	0世帯
	※機能支障人口		0人	0人	0人
	復旧日数(人員1/2)		-	-	-
	復旧日数(人員1/4)	-	-	-	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		その他の道路の被害	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		12. 増毛山地東縁断層帯（モデル45_3）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	5箇所	5箇所	5箇所
		崩壊危険度C(箇所)	26箇所	26箇所	26箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	0.9km	0.9km
	機能支障世帯数		65世帯	65世帯	65世帯
	※機能支障人口		161人	161人	161人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	23箇所	23箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		13. 増毛山地東縁断層帯（モデル45_4）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
		下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満
	機能支障世帯数		1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
	※機能支障人口		2人	2人	2人
	復旧日数(人員1/2)		-	-	-
	復旧日数(人員1/4)	-	-	-	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	1箇所	1箇所	1箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					



3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		14. 増毛山地東縁断層帯（モデル45_5）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数	0棟	0棟	0棟		
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		15. 沼田－砂川付近の断層帯（モデル30_3）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.7	4.7	4.7	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		16. 沼田－砂川付近の断層帯（モデル30_4）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	5	5	5
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	9箇所	9箇所	9箇所
		崩壊危険度C(箇所)	22箇所	22箇所	22箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.6km	1.6km
	機能支障世帯数		125世帯	125世帯	125世帯
	※機能支障人口		311人	311人	311人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	35箇所	35箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		17. 沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_1）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	4箇所	4箇所	4箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	27箇所	27箇所	27箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.7km	0.7km	0.7km
		機能支障世帯数	50世帯	50世帯	50世帯
		※機能支障人口	125人	125人	125人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		—	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	2箇所	2箇所	2箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	19箇所	19箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない				

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		18. 沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_2）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	5	5	5
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	9箇所	9箇所	9箇所
		崩壊危険度C(箇所)	22箇所	22箇所	22箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.6km	1.6km
	機能支障世帯数		128世帯	128世帯	128世帯
	※機能支障人口		319人	319人	319人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		19. 沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_3）の地震			
被害想定項目	小項目	（冬の早朝）	（夏の昼間）	（冬の夕方）	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.7	4.7	4.7	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C (箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		20. 沼田－砂川付近の断層帯（モデル45_4）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	9箇所	9箇所	9箇所
		崩壊危険度C(箇所)	22箇所	22箇所	22箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.3km	1.3km
	機能支障世帯数		104世帯	104世帯	104世帯
	※機能支障人口		259人	259人	259人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	32箇所	32箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		23. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ7km、モデル30_1）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	5	5	5	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	11箇所	11箇所	11箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	20箇所	20箇所	20箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		断水世帯数(直後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口(直後)	1人未満	1人未満	1人未満
		断水世帯数(1日後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口(1日後)	1人未満	1人未満	1人未満
		断水世帯数(2日後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口(2日後)	1人未満	1人未満	1人未満
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.8km	1.8km
	機能支障世帯数		145世帯	145世帯	145世帯
	※機能支障人口		362人	362人	362人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					



3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		24. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ7km、モデル30_5）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数		1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
	下水道の被害	被害延長(km)	0.2km	0.2km	0.2km
		機能支障世帯数	14世帯	14世帯	14世帯
		※機能支障人口	34人	34人	34人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
復旧日数(人員1/4)	-	-	-		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所	1箇所	1箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	13箇所	13箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		25. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ7km、モデル45_1）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	5	5	5	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	9箇所	9箇所	9箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	22箇所	22箇所	22箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人	1人	1人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.7km	1.7km
	機能支障世帯数		136世帯	136世帯	136世帯
	※機能支障人口		339人	339人	339人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	34箇所	34箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		26. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル30_2）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		27. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル45_2）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.7	4.7	4.7	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C (箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		28. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル45_3）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難所外避難者数	1人未満	1人未満	1人未満
		避難者数計	1人未満	1人未満	1人未満
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
—		—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	9箇所	9箇所	9箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		29. 石狩低地東縁断層帯主部（北）（断層上端深さ3km、モデル45_5）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	5箇所	5箇所	5箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		30. 石狩低地東縁断層帯主部（南）（断層上端深さ3km、モデル45_2）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.6	4.6	4.6	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		31. 石狩低地東縁断層帯主部（南）（断層上端深さ3km、モデル45_5）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.6	4.6	4.6	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	1人	1人	1人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
復旧日数(人員1/4)	—	—	—		
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					



3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		32. 石狩低地東縁断層帯南部 (断層上端深さ7km、モデル30_5) の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B (箇所)	5箇所	5箇所	5箇所	
	崩壊危険度C (箇所)	26箇所	26箇所	26箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	0.9km	0.9km
	機能支障世帯数		64世帯	64世帯	64世帯
	※機能支障人口		158人	158人	158人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	3箇所	3箇所	3箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	22箇所	22箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		33. 石狩低地東縁断層帯南部 (断層上端深さ3km、モデル30_2) の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C (箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
		下水道の被害	被害延長(km)	0.2km	0.2km
	機能支障世帯数		15世帯	15世帯	15世帯
	※機能支障人口		38人	38人	38人
	復旧日数(人員1/2)		-	-	-
	復旧日数(人員1/4)	-	-	-	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	2箇所	2箇所	2箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		34. 石狩低地東縁断層帯南部 (断層上端深さ3km、モデル30_3) の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	5	5	5
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B (箇所)	17箇所	17箇所	17箇所
		崩壊危険度C (箇所)	14箇所	14箇所	14箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人	1人	1人
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		2人	2人	2人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		断水世帯数(直後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口(直後)	1人未満	1人未満	1人未満
		断水世帯数(1日後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口(1日後)	1人未満	1人未満	1人未満
		断水世帯数(2日後)	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※断水人口(2日後)	1人未満	1人未満	1人未満
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
		下水道の被害	被害延長(km)	1.8km	1.8km
	機能支障世帯数		146世帯	146世帯	146世帯
	※機能支障人口		364人	364人	364人
	復旧日数(人員1/2)		-	-	-
	復旧日数(人員1/4)	-	-	-	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	36箇所	36箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		35. 石狩低地東縁断層帯南部 (断層上端深さ3km、モデル30_5) の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.8	4.8	4.8	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C (箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
	下水道の被害	被害延長(km)	0.1km未満	0.1km未満	0.1km未満
		機能支障世帯数	1世帯未満	1世帯未満	1世帯未満
		※機能支障人口	2人	2人	2人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	5箇所	5箇所	5箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		47. 根室沖・釧路沖の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	5.3	5.3	5.3
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	19箇所	19箇所	19箇所
		崩壊危険度C(箇所)	12箇所	12箇所	12箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害		全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満
		焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	1人未満	0人
		揺れによる重傷者数	0人	1人未満	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	1人未満	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人	1人	1人
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		2人	2人	2人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		断水世帯数(直後)	4世帯	4世帯	4世帯
		※断水人口(直後)	9人	9人	9人
		断水世帯数(1日後)	4世帯	4世帯	4世帯
		※断水人口(1日後)	10人	10人	10人
		断水世帯数(2日後)	4世帯	4世帯	4世帯
		※断水人口(2日後)	9人	9人	9人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
		下水道の被害	被害延長(km)	1.9km	1.9km
	機能支障世帯数		148世帯	148世帯	148世帯
	※機能支障人口		369人	369人	369人
	復旧日数(人員1/2)		-	-	-
	復旧日数(人員1/4)		-	-	-
	(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	6箇所	6箇所
その他の道路の被害			被害箇所数	44箇所	44箇所
橋梁(15m以上)の被害		不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
橋梁(15m未満)の被害		不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

音更町の地震被害想定結果		48. 十勝沖の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	6	6	6	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度 A (箇所)	21箇所	21箇所	21箇所	
	崩壊危険度 B (箇所)	7箇所	7箇所	7箇所	
	崩壊危険度 C (箇所)	3箇所	3箇所	3箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	8棟	5棟	8棟
		揺れによる半壊棟数	131棟	63棟	131棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	4棟	4棟	4棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	10棟	10棟	10棟
	計	全壊棟数	12棟	9棟	12棟
	半壊棟数	142棟	73棟	142棟	
(5) 火災被害	全出火件数	1件未満	1件未満	1件	
	炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満	
	焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人	1人未満	1人
		揺れによる軽傷者数	12人	4人	10人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	5人	2人	3人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	3人	1人	2人
		軽傷者数	17人	6人	12人
	避難者数	避難所生活者数	1,877人	1,838人	1,877人
避難所外避難者数		1,011人	990人	1,011人	
避難者数計		2,887人	2,828人	2,888人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	80箇所	80箇所	80箇所
		断水世帯数(直後)	8,881世帯	8,881世帯	8,881世帯
		※断水人口(直後)	22,114人	22,114人	22,114人
		断水世帯数(1日後)	4,787世帯	4,787世帯	4,787世帯
		※断水人口(1日後)	11,921人	11,921人	11,921人
		断水世帯数(2日後)	4,597世帯	4,597世帯	4,597世帯
		※断水人口(2日後)	11,447人	11,447人	11,447人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	7.2km	7.2km
	機能支障世帯数		559世帯	559世帯	559世帯
	※機能支障人口		1,392人	1,392人	1,392人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	12箇所	12箇所	12箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	89箇所	89箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		通行支障箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料

資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		49. 三陸沖北部の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	5.4	5.4	5.4	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	18箇所	18箇所	18箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	11箇所	11箇所	11箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		揺れによる半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟	1棟	1棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	3棟	3棟	3棟
	計	全壊棟数	1棟	1棟	1棟
半壊棟数		4棟	4棟	4棟	
(5) 火災被害	全出火件数	1件未満	1件未満	1件未満	
	炎上出火件数	1件未満	1件未満	1件未満	
	焼失棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		揺れによる軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	2人	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		火災による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	2人	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	7人	6人	7人
		避難所外避難者数	4人	3人	4人
		避難者数計	10人	10人	10人
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		断水世帯数(直後)	13世帯	13世帯	13世帯
		※断水人口(直後)	33人	33人	33人
		断水世帯数(1日後)	11世帯	11世帯	11世帯
		※断水人口(1日後)	27人	27人	27人
		断水世帯数(2日後)	10世帯	10世帯	10世帯
		※断水人口(2日後)	25人	25人	25人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	2.6km	2.6km
	機能支障世帯数		206世帯	206世帯	206世帯
	※機能支障人口		513人	513人	513人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	6箇所	6箇所	6箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	50箇所	50箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		50. 北海道北西沖（モデルNo. 2）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	4.9	4.9	4.9
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度C (箇所)	31箇所	31箇所	31箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	1人未満	1人未満	1人未満
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		1人未満	1人未満	1人未満	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	0.2km	0.2km
	機能支障世帯数		15世帯	15世帯	15世帯
	※機能支障人口		38人	38人	38人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	1箇所未満	1箇所未満	1箇所未満
		その他の道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					



3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		51. 北海道北西沖（モデルNo.5）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1)地震動	地表における震度(評価単位最大)	4.4	4.4	4.4	
(3)急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度B(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度C(箇所)	31箇所	31箇所	31箇所	
(4)建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		液状化による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	計	全壊棟数	0棟	0棟	0棟
半壊棟数		0棟	0棟	0棟	
(5)火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6)人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による重傷者数	0人	0人	0人
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	0人	0人	0人
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	0人	0人	0人
		重傷者数	0人	0人	0人
		軽傷者数	0人	0人	0人
	避難者数	避難所生活者数	0人	0人	0人
避難所外避難者数		0人	0人	0人	
避難者数計		0人	0人	0人	
(7)ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
		復旧日数(人員1/4)	-	-	-
	下水道の被害	被害延長(km)	0km	0km	0km
		機能支障世帯数	0世帯	0世帯	0世帯
		※機能支障人口	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	-	-	-
復旧日数(人員1/4)	-	-	-		
(8)交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		その他の道路の被害	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編 3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		53. 北海道留萌沖（走向N193° E、モデル No. 1）の地震			
被害想定項目	小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)	
(1) 地震動	地表における震度(評価単位最大)	5.1	5.1	5.1	
(3) 急傾斜地崩壊危険度	崩壊危険度 A (箇所)	0箇所	0箇所	0箇所	
	崩壊危険度 B (箇所)	17箇所	17箇所	17箇所	
	崩壊危険度 C (箇所)	14箇所	14箇所	14箇所	
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満		
(5) 火災被害	全出火件数	0件	0件	0件	
	炎上出火件数	0件	0件	0件	
	焼失棟数	0棟	0棟	0棟	
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人	1人	1人
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		2人	2人	2人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
		下水道の被害	被害延長(km)	1.8km	1.8km
	機能支障世帯数		146世帯	146世帯	146世帯
	※機能支障人口		364人	364人	364人
	復旧日数(人員1/2)		—	—	—
	復旧日数(人員1/4)	—	—	—	
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	5箇所	5箇所	5箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	41箇所	41箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

3 災害履歴・気象等に関する資料  
資料編3-14：地震の被害想定結果

音更町の地震被害想定結果		54. 北海道留萌沖（走向N225° E、モデルNo.2）の地震			
被害想定項目		小項目	(冬の早朝)	(夏の昼間)	(冬の夕方)
(1) 地震動		地表における震度(評価単位最大)	5	5	5
(3) 急傾斜地崩壊危険度		崩壊危険度A(箇所)	0箇所	0箇所	0箇所
		崩壊危険度B(箇所)	17箇所	17箇所	17箇所
		崩壊危険度C(箇所)	14箇所	14箇所	14箇所
(4) 建物被害	揺れによる建物被害	揺れによる全壊棟数	0棟	0棟	0棟
		揺れによる半壊棟数	0棟	0棟	0棟
	液状化による建物被害	液状化による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		液状化による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	急傾斜地崩壊による建物被害	急傾斜地崩壊による全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
		急傾斜地崩壊による半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	計	全壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満
	半壊棟数	1棟未満	1棟未満	1棟未満	
(5) 火災被害		全出火件数	0件	0件	0件
		炎上出火件数	0件	0件	0件
		焼失棟数	0棟	0棟	0棟
(6) 人的被害	揺れによる人的被害	揺れによる死者数	0人	0人	0人
		揺れによる重傷者数	0人	0人	0人
		揺れによる軽傷者数	0人	0人	0人
	急傾斜地崩壊による人的被害	急傾斜地崩壊による死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		急傾斜地崩壊による軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	火災被害による人的被害	火災による死者数	0人	0人	0人
		火災による重傷者数	0人	0人	0人
		火災による軽傷者数	0人	0人	0人
	計	死者数	1人未満	1人未満	1人未満
		重傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
		軽傷者数	1人未満	1人未満	1人未満
	避難者数	避難所生活者数	1人	1人	1人
避難所外避難者数		1人未満	1人未満	1人未満	
避難者数計		2人	2人	2人	
(7) ライフライン被害	上水道の被害	被害箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		断水世帯数(直後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(直後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(1日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(1日後)	0人	0人	0人
		断水世帯数(2日後)	0世帯	0世帯	0世帯
		※断水人口(2日後)	0人	0人	0人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
	下水道の被害	被害延長(km)	1.8km	1.8km	1.8km
		機能支障世帯数	146世帯	146世帯	146世帯
		※機能支障人口	364人	364人	364人
		復旧日数(人員1/2)	—	—	—
		復旧日数(人員1/4)	—	—	—
(8) 交通施設被害	主要な道路の被害	被害箇所数	4箇所	4箇所	4箇所
		その他の道路の被害	被害箇所数	40箇所	40箇所
	橋梁(15m以上)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
	橋梁(15m未満)の被害	不通箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
		通行支障箇所数	0箇所	0箇所	0箇所
※端数処理の関係で、表中の数値と合計値は合わない場合がある ※上下水道の復旧日数は、振興局単位の計算のため、市町村単位の数値はない					

## 資料編 3-15：気象庁震度階級関連解説表

### 使用にあたっての留意事項

- 1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- 2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- 3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- 4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- 5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的な内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- 6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 半分以上。ほとんどよりは少ない。 全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

### ●人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
	感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

●木造建築（住宅）の状況

震度階級	木造建物（住宅）	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

(注1) 木造建物（住宅）の耐震性により2つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

●鉄筋コンクリート造建物の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。

(注1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

●地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5弱	亀裂* <sup>1</sup> や液状化* <sup>2</sup> が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5強		
6弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある* <sup>3</sup> 。
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

●ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることがある*。
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある*。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等が繋がりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度 6 強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。



## ●大規模構造物への影響

長周期地震動※による 超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長い ため、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらな いと、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクの スロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する 施設の天井等の 破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることがある。

資料編3-16：水防信号

第1信号 氾濫注意水位（警戒水位）に達したことを知らせるもの

第2信号 水防団員及び消防機関に属する者の全員が出動すべきことを知らせるもの

第3信号 当該水防管理団体の区域内に居住する者が出動すべきことを知らせるもの

第4信号 必要と認める区域内の居住者に避難のため立退くべきことを知らせるもの

※地震による堤防の漏水、沈下等の場合は、上記に準じて取り扱う。

【水防信号】

	警鐘信号	サイレン信号（余いん防止符）
第1信号	○休止 ○休止 ○休止	約5秒 15秒 5秒 15秒 5秒 15秒 5秒 15秒 ○ - 休止 ○ - 休止 ○ - 休止 ○ - 休止
第2信号	○-○-○ ○-○-○	約5秒 6秒 5秒 6秒 5秒 6秒 5秒 6秒 ○ - 休止 ○ - 休止 ○ - 休止 ○ - 休止
第3信号	○-○-○-○ ○-○-○-○	約10秒 5秒 10秒 5秒 10秒 5秒 10秒 5秒 ○ - 休止 ○ - 休止 ○ - 休止 ○ - 休止
第4信号	乱打	約1分 5秒 1分 ○ - 休止 - ○ -

- （備考）
- 1 信号は、適宜の時間継続すること。
  - 2 必要があれば警鐘信号及びサイレン信号を併用することを妨げないこと。
  - 3 危険が去ったときは、口頭伝達により周知させるものとする。